

食のイノベーション推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

農業経営体の「稼ぐ力」を高めることを目的に、昨年度から実施している「食のイノベーション推進事業」について、取組状況を報告する。

2 現状・背景

県では、生産性の高い農業を取り入れて安定した所得を確保しながら、本県の農業をリードする企業経営体の育成支援を進めている。その中で「異業種と連携したい」、「社会環境の変化をビジネスにつなげたい」など、新たなビジネスの創発を希望する意欲的な農業経営体が現れており、こうした経営体の経営発展を促すため、生産から販売に係る様々な企業と農業経営体が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発する取組を進めるプログラム「Hiroshima FOOD BATON（ひろしまフードバトン）」を実施している。

3 概要

(1) 第1期採択チームの昨年度の取組概要及び今年度の取組方針

ア プロジェクト名：薬局DE野菜（やっきょくでやさい）

(ア) 起案代表者：藤谷 祐司（三次市）【農業経営体（白ねぎ）】

(イ) 実証内容

- ・ 地域密着型の調剤薬局を活用した健康をテーマにした野菜の販売。
- ・ 医療現場等との協業による栄養機能に着目した商品開発。

(ウ) 昨年度の成果及び課題

- ・ 5店舗で導入され、販売額も徐々に増加している。病院等、薬局以外でも導入を希望する店舗が現れている。
- ・ 一方、店舗が狭く冷蔵ショーケースが導入できない、販売対応できる従業員がいない店舗があることなどが明らかになった。
- ・ 栄養機能に着目したトマトの商品開発を開始しており、機能性に係る分析等が必要である。

(エ) 今年度の取組方針

- ・ 在庫確認、レジなどオペレーションの負担軽減策や、小型冷蔵庫の導入を進め、取扱店舗の拡大を図る。また、取扱いを希望する病院等でも販売を開始できるよう、物流ルートを拡大させる。
- ・ 引き続き、機能性表示食品の開発等を実施するとともに、有機栽培や無農薬栽



培に取り組む新規就農者などの販路となるよう支援する。

イ プロジェクト名：HIROSHIMA HYBRID DESIGN（ひろしまハイブリッドデザイン）

（ア）起案代表者：株式会社 ATORA（広島市）【食品製造業】

（イ）実証内容

- ・ 廃棄野菜等を有効活用したアップサイクル型商品や飲食店とコラボした餃子などの開発・販売。



（ウ）昨年度の成果及び課題

- ・ 新たな冷凍技術を活用した商品の高級スーパー等での販売が好調であったことから、新商品の開発をはじめている。
- ・ 一方、商品は手作業で製造しており、機械化や廃棄野菜の安定的な調達が必要である。



（エ）今年度の取組方針

- ・ 製造を行う人材の確保や製造機器の導入等を行う。
- ・ 高級スーパー等でのイベントなどの実施により、10店舗を目標とした売り場の確保等を目指す。
- ・ ブランド化に向けて、比婆牛、ケールの新商品の開発や販売に取り組む。

ウ プロジェクト名：comorebi commune（こもれびコミュニケーション）

（ア）起案代表者：小嶋正太郎（尾道市）【農業経営体（八朔、安政柑）】

（イ）実証内容

- ・ 因島における農家民宿を活用した都会在住クリエイターの移住促進と耕作放棄地を利用した手軽な就農モデルの創出。
- ・ クリエイターによる新商品等の開発。



（ウ）昨年度の成果及び課題

- ・ 移住希望クリエイターの確保やファンづくりのため、収穫をメインとした農業体験ツアーを開催した。
- ・ ネーミングやパッケージにこだわったクリエイティブな商品を開発し、首都圏で行われるイベントで販売した。
- ・ 一方、農家民宿の立ち上げに伴う物件の取得、改修が遅れている。

（エ）今年度の取組方針

- ・ 農家民宿の改修を早期に完了させ、移住者の募集を行う。
- ・ メディアにPRすることにより、農業体験を希望する準富裕層を対象とした農園のファンを募集する。
- ・ 首都圏の飲食店でオリジナル商品を開発し、販売を行う。

(2) 今年度の取組概要

ア 参加事業者の募集

本事業を推進する特設サイトで、本プログラムに関心のある農業経営体や事業者の参加募集を開始している。

(ア) 募集期間

令和5年6月8日（木）～7月7日（金）

(イ) 特設サイト URL

<https://www.hiroshima-ouen.com/hiroshima-foodbaton>

(ウ) 募集テーマ

- a いつも美味しい農作物の価値が味わえるビジネスの創出
- b 多品種・多商品型の地域食品加工サービスビジネスの創出
- c 顧客との共創で形作るコミュニティ価値訴求型ビジネスの創出
- d 「食」を楽しくする「農」体験ビジネスの創出
- e フードロスを減らす新たなエシカル消費型ビジネスの創出
- f 環境価値を活用した食の循環経済ビジネスの創出
- g 多様な人材ネットワーク活用によるワークシェアビジネスの創出
- h 農作物を適時に安定供給できるサプライチェーンビジネスの創出
- i 市場ニーズを踏まえた農作物開発・販売の最適化ビジネスの創出

(エ) 第2期募集セミナーの開催

日時：令和5年6月9日（金）10:00 から 12:30

場所：広島県庁本館6階 講堂（広島市中区基町10番52号）

(オ) 個別相談会の開催

【実施日時】令和5年6月12日（月）～6月30日（金）

【登録サイト】 <https://hiroshima-foodbaton-meeting-r5.peatix.com>

イ プロジェクトチームの立ち上げ

今後、応募事業者に対し、事業構想の作成支援、農業経営体と企業のマッチング、プロジェクトの実行計画の作成支援を行い、秋までに3件のプロジェクトの立ち上げを行う予定である。

ウ プロジェクトの実行計画に基づく新たなビジネスの実現

- ・新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決支援
- ・現地実証に係る経費の支援
- ・今年度支援件数 6件（採択2年目：3件、新規採択：3件）

(3) 予算（単県）

50,000千円